

## 『日本看護倫理学会誌第2号』の投稿手引き

下記の要領で、日本看護倫理学会誌第2号への投稿を募集します。なお、第2号への掲載対象は、2009年8月20日までに投稿された原稿に限らせていただきます。

日本看護倫理学会編集委員会

委員長 小西恵美子

### 記

#### I. 投稿資格

本誌投稿者は、共著者も含めて全員、日本看護倫理学会の会員とする。ただし、編集委員会が特に認めた場合はこの限りではない。

#### II. 投稿論文の種類

本誌に掲載する論文は、看護倫理に関する①研究論文、②論説、③レター、および④その他に相当する論文で、未公刊のものとする。論文の種類、内容、文字数は表1のとおりとする。

表 1.

論文の種類	内容	和文字数	英文語数
研究論文 (Research paper)	「実証研究」「総説」「理論論文」「方法論論文」	5,000 ~	2,500 ~
	「事例研究」「その他」のいずれかに該当するもの	12,000	6,000
論説 (Thought paper)	倫理に関わる議論や提言等の論述	5,000 ~ 12,000	2,500 ~ 6,000
レター (Letter)	実践・教育・研究現場などからの所感や意見、掲載された論文への論評やその応答等を述べたもの	4,000 以内	2,000 以内
その他 (Book review etc)	書評やトピックスなどで編集委員会が認めたもの	4,000 以内	2,000 以内

#### III. 投稿原稿

原稿は、和文または英文とし、後述の執筆要領に指定されたスタイルに従う。

For English submission, please refer to Manuscript Submission Guidelines for the journal, "Nursing Ethics".

#### IV. 倫理的配慮

論文は、その内容に応じて、倫理委員会の審査を含め、研究対象者の権利が尊重されるように

した手続きについて記述するとともに、論文全体を通じて、対象者の権利および知的財産権の保護に十分配慮して記述する。学術誌等に掲載された図表を転載する場合には、その学術誌等の規定に基づいて手続きを行なうこと。

## V. 投稿原稿の採否

原稿の採否および掲載順は編集委員会が決定する。

## VI. 査読および原稿の修正

1. 「研究論文」および「論説」は、少なくとも 2 人の査読者によるダブルブラインド方式の査読を行う。「レター」および「その他」は、編集委員会の審査により採否を決定する。
2. 採否の決定にあたり、投稿者が希望するカテゴリーでは受理できないが、他の欄への掲載ならば受理可能と判断した場合、決定を保留し、投稿者に連絡し、その結果によって採否を決定することがある。
3. 採用に際し、編集委員会は原稿の修正を求めることがある。修正を求められた原稿は指定する期日までに修正して送付すること。期限までに送付されなかった場合は、投稿取り下げとみなし、原稿を処分することがある。
4. 編集委員会は、受理した原稿を必要に応じて編集できる権限を有する。

## VII. 校正

著者校正は校正刷りの段階で原則として 1 回のみとする。誤字脱字等の軽微な修正にとどめること。大幅な加筆修正はできない。また、締め切りを厳守する。

## VIII. 掲載論文の責任および著作権(copyright)

1. 掲載された論文の責任は著者にある。
2. 掲載論文の著作権は、電子的な二次使用(たとえば PDF 化)や論文データベースの作成、第三者に対する転載の許諾等を含め、本学会に帰属する。著作権譲渡証(別添)に署名の上、原稿提出時に添付すること。
3. 受けつけた原稿は返却しない。
4. 本誌に掲載された図表等の他誌への転載については、著者の許諾が得られていればよいものとする。
5. 掲載論文中に一般的な引用の範囲を超えた文章、図表等を転載する場合、その著作権者からの許可は投稿者が取得し、その許諾書(写し)を提出すること。

## IX. 執筆要領

1. 研究論文および論説には、300 字以内の和文要旨をつける。また、200 words 以内の英文要旨をつけることが望ましい。和文・英文要旨には、標題および 6 つまでのキーワードを記

載する。

2. 使用言語が母語でない場合、必ずネイティブチェックを受けた上で投稿すること。
3. 本文と要旨には、著者名やその所属を記入しないこと。
4. ページレイアウトは、A4判(縦使い)、横書き、1ページ40字×30行(1,200字)、左揃えの設定とする。英文ではハイフネーションは行なわない。
5. 本文の右上に通しページ番号を入れる。
6. 書体
  - 1) 本文のフォントは、日本語はMS明朝、サイズは10.5ポイント、英文はTimes New Roman 12ポイントとする。
  - 2) ひらがな、カタカナ、漢字、句読点、および和文本文の括弧は全角で、それ以外(数字、アルファベット、数字、記号)は半角とする。
7. ナンバリングは次の方式とする。

#### 1) 研究論文・論説

- 章レベル：I. II. III. … (全角。番号の後に点をつける)
- 節レベル：1. 2. 3. … (全角。番号の後に点をつける)
- 項レベル：1), 2), 3), … (半角)
- 更に下位のレベル：(1), (2), (3), … (半角)
- 箇条書き等：①, ②, ③, … (全角)

#### 2) レター・その他

章レベルのナンバリングはせず、節レベルからとする。

#### 8. 句読点

- 1) 本文中では、全角の「、」と「。」に統一する。
- 2) 句読点以外の、「,」「;」「:」などは全て半角とする。

#### 9. 図表

- 1) 図表はモノクロとする(グレイスケール不可)。図表は、図・表だけとし、図表番号と図表タイトルは、本文中に図表の挿入位置を明示して、[図1：ケアリングの構成概念]のように両かぎカッコで括って示すこと。
  - 2) 図、表それぞれについて本文出現順に、図表番号と対応する連番を付した別ファイルとし、後述(XI.7.)するファイル名のルールに従う。
  - 3) 図表は1つにつき400字相当を目安とする。
10. 英語論文の執筆要領(文献リストの形式以外)は、NE誌<sup>1</sup>に準ずることとする。

## X. 文献の記載方法

1. 文献の引用は番号引用形式を使用する。本文中の引用箇所連番を上付き書式で付し(例：「柳田ら<sup>1</sup>の調査では、・・・」)、本文末尾に、その番号とともに文献を引用し、文献リストを作成する。文献リストの記載方法はAPA方式に従う

2. 文献著者が3名以上の場合は、筆頭者2名のみをあげ、○、○他とする。外国語論文の場合は○, ○et al. とする。

3. 文献リストの記載例

**【雑誌の場合】**

引用番号. 著者名(出版年). 論文の表題. 雑誌名, 巻数(号数), 始頁-終頁.

-例-

1. 西潔, 石原和弘他(2003). 火山地域における震源計算についての提案, 火山, 48(5), 407-13.
2. Petitti, D.B., Crooks, V.C. et al. (2005). Blood pressure levels before dementia, Arch Neurol. Jan, 62(1), 112-116.

**【単行本の場合】**

引用番号. 著者名(発行年). 書名(版数)、引用箇所の始頁-終頁、出版社、出版地.

-例-

3. 倫理太郎(1981). 看護倫理序説(第2版)、23-33、看護出版、東京.
4. Riffenburgh, R.H. (2006). Statistics in medicine(2nd ed), 55-66, Appleton & Lange, London.

**【翻訳書の場合】**

引用番号. 原著者名(原書の発行年) / 訳者名(訳書の発行年). 訳書の書名(版数)、引用箇所の始頁-終頁、出版社、出版地.

-例-

5. Beauchamp, T.L., Childress, J.F. (1989)/永安幸正、立木教夫監訳(1997). 生命医学倫理(第2版)、17-28、成文堂、東京.

**【インターネットの情報を引用する場合】**

・電子版の雑誌の場合は、表題名のあとに[電子版]と付す。

引用番号. 著者名(出版年). 論文の表題[電子版]. 雑誌名, 巻数(号数), 始頁-終頁.

・その他の場合は、検索日と URL を付す

引用番号. 著者名(出版年). 論文の表題. 雑誌名, 巻数(号数), 始頁-終頁. 検索日○年○月○日, URL

-例-

6. Sato, R., Maeda, J. (2002). Changes in the sleep during prolonged bed rest in healthy young men. 大分看護科学研究, 3(2), 29-32. 検索日 2008年9月16日, [http://www.oita-nhs.ac.jp/journal/PDF/3\\_2/3\\_2\\_1.pdf](http://www.oita-nhs.ac.jp/journal/PDF/3_2/3_2_1.pdf)

その他については、APA 論文作成マニュアル<sup>2</sup>を参照すること。

## **X I. 原稿の提出方法**

1. 原稿は、すべて電子媒体として e-mail に添付して提出する。

2. 文章はMicrosoft Word (.doc とする。docx は受け付けない)とする。
3. 表はエクセル (.xls)フォーマットを推奨する。
4. 図は JPEG (.jpg)または TIFF(.tif)などのフォーマットを推奨する。  
本誌では、図表のトレースは行なわない。提出されたものをそのまま版下として使用するため、印刷に耐えうる(一般に 300dpi 以上)図表の作成を心がけること。
5. 提出原稿は、①投稿票(別添)、②和文要旨(研究論文・論説の場合のみ)、③英文要旨(研究論文・論説の場合のみ)、③本文、④表、⑤図からなる。
6. 上記のそれぞれを別個のファイルとする。
7. ファイル名には、著者の姓をつけ、次のようにする  
(例) 姓が佐藤の場合  
投稿票\_佐藤  
和文要旨\_佐藤  
英文要旨\_佐藤  
本文\_佐藤  
表 1\_佐藤  
図 1\_佐藤
8. 原稿の送付方法: 次により、メール送信すること
  - ・メールアドレス: [kangorinri@saku.ac.jp](mailto:kangorinri@saku.ac.jp)
  - ・メールの件名: 「倫理学会誌投稿」と記すこと
  - ・提出原稿: メールに添付する。
  - ・メール本文: 編集委員長宛に、投稿の旨を記載すること。

## **XII. 編集委員会事務局**

〒 385-0022 長野県佐久市岩村田

佐久大学内 日本看護倫理学会編集委員会

[kangorinri@saku.ac.jp](mailto:kangorinri@saku.ac.jp)

### **第 2 号への投稿期限: 2009 年 8 月 20 日**

1. Manuscript Submission Guidelines: Nursing Ethics,  
<http://www.sagepub.com/journalsProdManSub.nav?prodId=Journal201821>
2. American Psychological Association (2001)/江藤裕之, 前田樹海他(2004).  
APA 論文作成マニュアル, 医学書院, 東京.

日本看護倫理学会誌 投稿票

日本看護倫理学会編集委員会

投稿に当ってはこの用紙の太枠内を記入の上、原稿に添付して下さい。

When you contribute to our journal, please fill in blanks in the photocopy of this sheet and send it with your manuscript.

受理番号		受理日		再受理日	
------	--	-----	--	------	--

投稿の種類 Genre of Manuscript	<input type="checkbox"/> 研究論文 <input type="checkbox"/> 論説 <input type="checkbox"/> 論説 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
和文標題							
キーワード (6以内)							
英文標題 Title							
Keywords (max 6)							
著者名(会員番号) (和文)							
Authors' Name							
主著者の所属・〒番号・住所	所属) 〒・住所)						
Corresponding author's affiliation, address							
電話 (Phone)							
ファックス(Fax.)							
メール(E-mail)							
提出原稿枚数 Pages	著作権譲渡証 Copyright ____枚	和要旨 Abstract_J ____枚	英要旨 Abstract_E ____枚	本文 Text ____枚	図 Figure(s) ____枚	表 Table(s) ____枚	合計 Total ____枚

原稿が和文の場合も、英文タイトル、著者名、連絡先の英文表記をご記入下さい。